

授業科目名	論文の書き方(英語)	担当教員	渡邊隆
選択	開講年次：3年前期	単位：1単位	授業形態：演習 30時間

【授業概要】

学生は、多数の論文〔英語〕を読むことによって学術論文の構成やルールを学び、抄録や小論文を英語で書く機会を持つ。文章表現の基本原則を踏まえた文章の作成と文章表現を基礎として、コンピューターを活用して短いレポートや抄録、または小論文を英語で作成する。

【授業目的・目標】

1. 学術論文（英語）の構成やルールが説明できる。
2. 英語の文章表現の基本原則を踏まえた文章の作成が出来る。
3. 自己の研究目的に合った抄録や小論文を英語で作成できる。

【履修条件】

特になし

【授業計画】

- | | |
|----------------------|----------------|
| [01] アカデミック・ライティングとは | [09] エッセイの作成 3 |
| [02] パラグラフとは | [10] エッセイの作成 4 |
| [03] エッセイの構造 1 | [11] エッセイの作成 5 |
| [04] エッセイの枠組みを構想する | [12] エッセイの作成 6 |
| [05] 文献資料の扱い方 | [13] エッセイの作成 7 |
| [06] エッセイの構造 2 | [14] エッセイの発表 1 |
| [07] エッセイの作成 1 | [15] エッセイの発表 2 |
| [08] エッセイの作成 2 | |

【教科書】

指定なし

【参考書】

アメリカ心理学会（APA）著（2011）APA論文作成マニュアル 第2版，医学書院
 迫桂・徳永聡子著（2012）英語論文の書き方，慶応大学出版会
 前田樹海・江藤裕之著（2013）APAに学ぶ看護系論文執筆のルール，医学書院
 ただし英和・和英辞典（電子辞書可）は毎時間必携とする。
 迫桂・徳永聡子著（2012）英語論文の書き方 慶応大学出版会
 前田樹海・江藤裕之著（2013）APAに学ぶ看護系論文執筆のルール 医学書院
 ただし英和・和英辞典（電子辞書可）は毎時間必携とする。

【評価方法・評価基準】

- 小論文作成プロセス（25%）
- 抄録の作成（25%）
- 小論文作成および発表（50%）

【講義のために必要な事前・事後学習】

授業時に提示される課題を確実に実施し、次時に向け準備すること。

【教育目標（必須要素）との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅰ．教養教育で培う普遍的基礎能力、Ⅶ．国際的視野の育成と地域貢献能力、Ⅷ．生涯にわたり継続して専門性を向上させる能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

各自が作成する抄録および小論文については、授業時にフィードバックを行う。

【備考】

学術・臨床両分野で必要とされる英語力を養成するための端緒となるよう積極敵に取り組むこと。